



# 環境配慮報告書 2023

東京エレクトロン宮城株式会社






# 環境マネジメントシステム

## ISO14001

東京エレクトロングループの国内事業所は1998年5月にISO14001の認証を取得し、2017年3月には一括認証に移行しました。これにより、グループ内で統一したフォーマットを使用した環境マネジメントシステムの運用をおこなっております。

## 環境方針

東京エレクトロングループの環境方針を以下に示します。

	1. 環境目標と継続的改善	環境目標を設定し、製品ライフサイクルの環境パフォーマンスを向上させるため、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
	2. 法令等の遵守	環境関連の法令を遵守するだけでなく、環境問題を幅広く調査し、自主基準などを制定します。
	3. 製品での環境貢献	最先端技術を駆使し、環境適合型製品を開発します。顧客や取引先と連携・協力し、環境問題の未然防止と改善に努め、持続可能な社会の実現に貢献します。
	4. 事業活動での環境負荷低減	事業活動における環境負荷を定量的に把握し、その低減を含む環境活動を従業員と一体となって、積極的かつ継続的におこない、汚染の予防と環境保護に努めます。
	5. 社会との連携・協力	ステークホルダーとの共通理解のもと、連携・協力を推進し、その期待に適切に対応していきます。

2016年7月1日改訂

## 第三者保証

環境情報のデータ管理の精度向上や報告内容の信頼性向上のため、環境データ（エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量、水使用量など）について、第三者による保証を受けています。

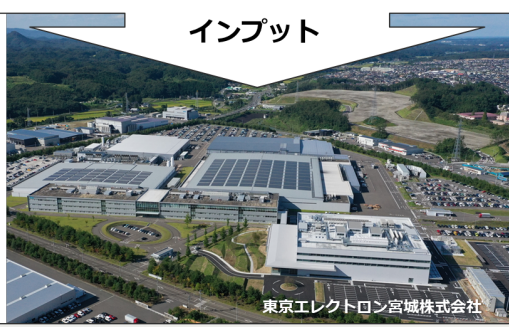
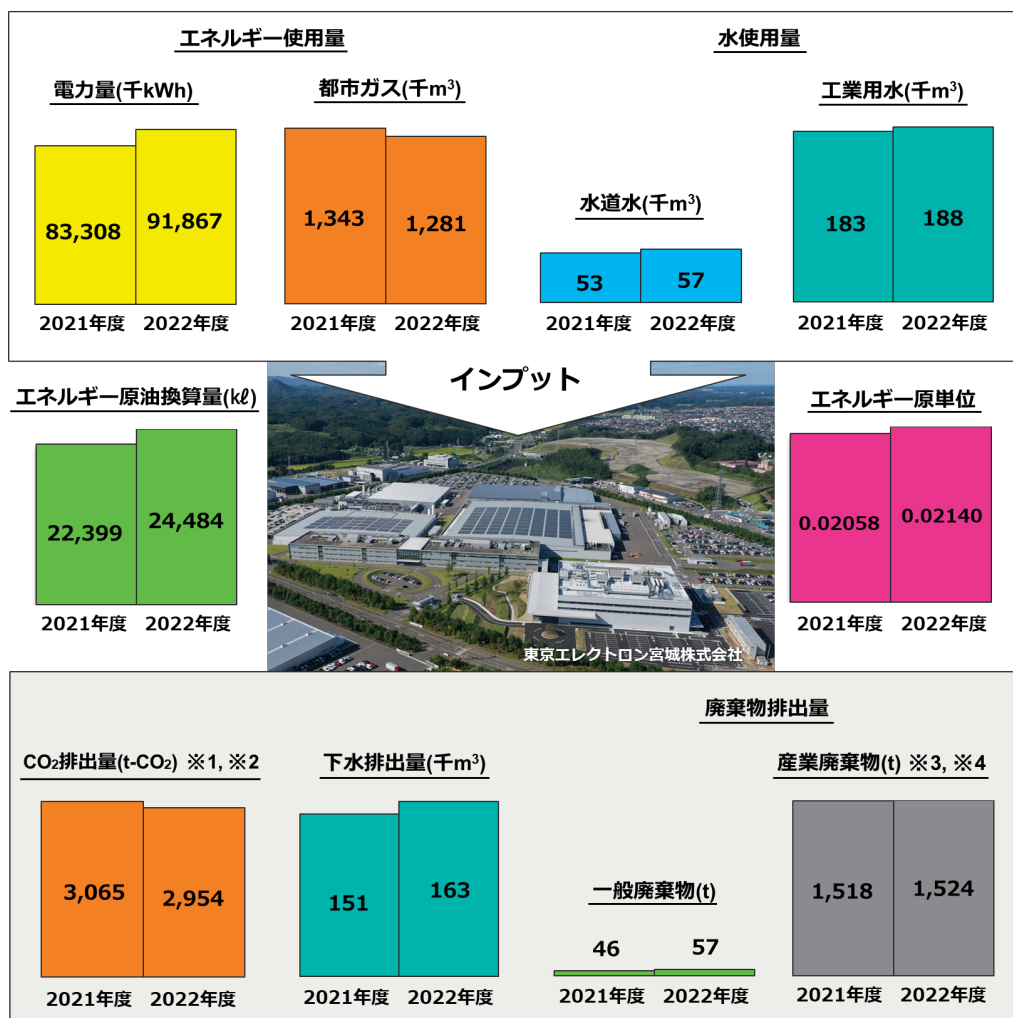
# 2022年度 東京エレクトロン宮城(株)環境データ報告

2022年度の環境負荷・環境配慮についてご報告いたします。

開発体制の強化のために第一開発棟と第二開発棟への開発用装置と用力設備の増設は継続しております。第二開発棟に増設した生産冷却水の冷却設備の影響もあり、電力量は10.3%増加しました。都市ガスの使用量は減少となりました。水道水と工業用水は微増となりました。エネルギーの原油換算量は9.3%の増加となりましたが、生産台数が2021年度と同等になったためにエネルギーの使用にかかる原単位は4.0%の増加にとどまっております。

産業廃棄物につきましては有価物込みでの総排出量は微増となりました。廃棄物の有価物化も推進しており、2022年度は樹脂廃棄物の買取をおこなっている業者と新規契約をし、物流部門から排出される樹脂パレットを有価物にすることができました。

2021年度以降100%グリーン電力化をおこなっているため、CO<sub>2</sub>排出量は調整後の値で減少しております。今後も地球環境に配慮し、サステナビリティを重視した取り組みをおこなってまいります。



アウトプット

- ※1 エネルギー起源の排出量
- ※2 調整後温室効果ガス排出量
- ※3 有価物も含む
- ※4 リサイクル率99.2%

## 環境活動

### 東京エレクトロンの森 森づくり活動

2022年度も『みやぎの里山林協働再生支援事業』に参画し、新型コロナウイルスの感染予防対策を取りながら3年ぶりに従業員とその家族にも参加していただく形で大和町宮床の『東京エレクトロンの森』の森づくり活動を11月におこないました。クヌギを10本、ミズキを4本、オオシマザクラを6本植樹したほか、枯損木の除伐、遊歩道の整備もおこないました。



Source:東京エレクトロン

### 生物多様性活動 ヤギによる除草

ヤギによる敷地内の除草活動も継続しています。2022年度は、前年まで除草をおこなったヤギが産んだ子どもに業務を承継し除草をおこないました。



Source:東京エレクトロン

### 食廃油のバイオディーゼル燃料化とデマンドレスポンス

社内食堂から排出された廃油をバイオディーゼル燃料(BDF)の原料とするために提供する活動も継続しています。2022年度は食堂廃油1,847ℓをもとに製造されたBDF全量が含まれているB5系燃料を32,000ℓ給油し発電に使用しました。

電力会社からのデマンドレスポンスの要請への協力も継続しておこなっております。2022年度は合計6回の要請があり、社内ガス発電機とディーゼル発電機の運転や空調の間引き運転をおこない、合計で21,842kWhの受電電力削減に協力いたしました。

東京エレクトロン宮城株式会社 環境安全推進室

〒981-3629 宮城県 黒川郡 大和町 テクノヒルズ1番

☎: 022-356-3111 URL: <https://www.tel.co.jp/about/locations/tml.html> 発行: 2023年6月